

令和5年度 事業報告

令和5年5月29日に開催された通常総会の議決に従い下記事業を行った。

1 研究会の開催

加速器科学の推進に寄与することを目的とする「加速器科学研究会」並びに「特別セミナー」を計4回開催した。

(「会合等一覧」参照)

2 役員研修

研修会を1回、先端科学施設視察を2回、実施した。

(「会合等一覧」参照)

3 報告書の作成および配付

「加速器科学研究会」並びに、「特別セミナー」の講演の要旨をとりまとめ、下記報告書を刊行。

令和6年5月 「加速器科学研究会」並びに「特別セミナー」令和5年度報告書

以上

令和5年度 会合等一覧

【特別セミナー】敬称略

令和5年5月29日(月)13:00～14:00

会場 赤坂インターシティ・コンファレンス 301号室

講師 伊藤信太郎 (衆議院議員・自由民主党国際局長・ILC 推進議員連盟幹事長)

演題 「今日の国際政治」 (ビデオ出演)

令和5年9月4日(月) 14:00～16:00

会場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」

講師 峯村健司 (一般財団法人 キャノングローバル戦略研究所主任研究員)

演題 「中国・習近平政権下の安全保障と科学技術」

令和5年12月4日(月) 14:00～16:00

会場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」

講師 峯村健司 (一般財団法人 キャノングローバル戦略研究所主任研究員)

演題 「『台湾リスク』と日本を取り巻く安全保障」

(講演内容は、機微に触れる為、報告書には記載していません)

【加速器科学研究会】

令和6年2月26日(月) 14:00～16:00 (第113回)

会場 ザ・キャピトルホテル東急1階「鳳凰」

講師 安積 隆夫(国立研究開発法人・量子科学技術研究開発機構)

「光(放射光)とは? 先端光源ナノテラス加速器の性能」

渡部 貴宏(公益財団法人・高輝度光科学研究センター/
理化学研究所放射光科学研究センター)

「SPring-8-II 計画と今後の光源加速器の展望」

【役員研修等】

令和5年7月3日(月) 15:00～16:30

会場 ザ・キャピトルホテル東急 2階「桜の間」

講師 樋口 裕太(環境省地球環境局総務課 脱炭素社会移行推進室長補佐)

演題 「日本のカーボン・ニュートラル政策について」

令和5年10月30日(月)

視察先 仙台市 ナノテラス

説明者 安積 隆夫(国立研究開発法人・量子科学技術研究開発機構)

令和5年12月18日(月)

視察先 つくば市 KEK(高エネルギー加速器研究機構)

説明者 道園真一郎(加速器研修施設教授・ILC 研究開発プロジェクトリーダー)

早野 仁司(同 名誉教授)

照沼 信浩(同 教授)

石川 明正(素粒子原子核研究所 准教授)

収 支 計 算 書

(令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日)

(単位:円)

1) 収入の部	決算額	2) 支出の部	決算額
前期繰越収支差額	9,733,116		
1. 管理関係収入 会費収入	26,510,000	1. 事業費	(21,233,913)
2. 雑収入 助成金収入	2,243,516	人件費	8,227,600
		借館費	3,541,920
		研究会費	3,209,891
		報告書作成費	526,350
		事業管理費	5,418,974
		備品購入支出	309,178
3. 受取利息	50	2. 一般管理費	(5,328,774)
		人件費	2,004,400
		借館費	885,480
		事務管理費	2,361,600
		備品購入支出	77,294
当期収入合計	28,753,566	当期支出合計	26,562,687
当期収支差額			2,190,879
次期繰越収支差額			11,923,995

貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

(単位:円)

1) 資産の部	金 額	2) 負債の部	金 額
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金預金	10,771,444	未払金	1,019,963
仮払金	399,300	預り金	30,586
 (流動資産合計)	 (11,170,744)	 (流動負債合計)	 (1,050,549)
2. 固定資産			
器具備品	209,340		
電話加入権	244,760		
敷 金	213,800		
保証金	1,590,000		
 (固定資産合計)	 (2,257,900)	負債合計	1,050,549
		3) 正味財産の部	
		正味財産	12,378,095
		(うち当期正味財産増加額)	(2,400,218)
資産合計	13,428,644	負債及び正味財産合計	13,428,644

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却

定率法による。

(3) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預金・未収入金・前払金・仮払金・敷金・保証金・未払金
前受金及び預り金を含めている

2. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	前期末残高
現金預金	10,771,444	8,991,092
仮払金	399,300	
敷 金	213,800	213,800
保証金	1,590,000	1,590,000
合 計	12,974,544	10,794,892
未払金	1,019,963	731,000
預り金	30,586	30,776
前受金		300,000
合 計	1,050,549	1,061,776
次期繰越収支差額	11,923,995	9,733,116

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(直接法により減価償却を行っている。)

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
器具備品	591,369	382,029	209,340
合 計	591,369	382,029	209,340

正味財産増減計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 会費収入	26,510,000		
② 受取利息	42		
経常収益計		26,510,042	26,510,042
(2) 経常費用			
① 事業費			
人件費	8,167,600		
借館費	3,541,920		
研究会費	3,209,891		
報告書作成費	526,350		
事業管理費 注1)	5,620,680		
事業費計		21,066,441	
② 一般管理費			
人件費	2,004,400		
借館費	885,480		
事務管理費 注2)	2,397,027		
一般管理費計		5,286,907	
経常経費計			26,353,348
当期経常増減額			156,694
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
助成金収入	2,243,516		
経常外収益計		2,243,516	
当期経常外増減額			2,243,516
当期一般正味財産増減額			2,400,210
一般正味財産期首残高			9,977,877
一般正味財産期末残高			12,378,087
II 正味財産期末残高			12,378,087

正味財産増減計算書(前年対比)

(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 会費収入	26,510,000	27,110,000	-600,000
② 受取利息	42	26	16
経常収益計	26,510,042	27,110,026	-599,984
(2) 経常費用			
① 事業費			
人件費	8,167,600	7,617,600	550,000
借館費	3,541,920	3,541,920	0
研究会費	3,209,891	2,346,378	863,513
報告書作成費	526,350	196,966	329,384
事業管理費 注1)	5,620,680	3,788,873	1,831,807
事業費計	21,066,441	17,491,737	3,574,704
② 一般管理費			
人件費	2,004,400	1,904,400	100,000
借館費	885,480	885,480	0
事務管理費 注2)	2,397,027	2,398,175	-1,148
一般管理費計	5,286,907	5,188,055	98,852
経常経費計	26,353,348	22,679,792	3,673,556
当期経常増減額	156,694	4,430,234	-4,273,540
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給与引当金戻入額	0	9,215,102	-9,215,102
助成金収入	2,243,516	0	2,243,516
経常外収益計	2,243,516	9,215,102	-6,971,586
当期一般正味財産増減額	2,400,210	13,645,336	-11,245,126
一般正味財産期首残高	9,977,877	-3,667,459	13,645,336
一般正味財産期末残高	12,378,087	9,977,877	2,400,210
II 正味財産期末残高	12,378,087	9,977,877	2,400,210

注 1) 事業管理費内訳

(単位:円)

科 目	金 額
退職金給付費用	279,200
業務委託費	360,000
法定福利費	776,911
事務消耗品費	83,095
消耗品費	413,560
水道光熱費	143,406
旅費交通費	981,385
支払手数料	161,700
交際費	610,662
通信費	328,825
修繕費	149,336
会議費	986,243
リース料	75,645
新聞図書費	3,635
減価償却費	141,706
雑費	65,371
合 計	5,560,680

注 2) 事務管理費内訳

(単位:円)

科 目	金 額
退職金給付費用	69,800
業務委託費	90,000
法定福利費	194,232
事務消耗品費	20,773
消耗品費	147,418
水道光熱費	35,853
旅費交通費	148,610
支払手数料	1,173,979
租税公課	80,000
通信費	79,497
修繕費	149,534
会議費	150,823
リース料	18,911
減価償却費	35,427
雑費	2,170
合 計	2,397,027

財産目録

(令和6年3月31日現在)

(単位:円)

I 資産の部		
1. 流動資産		
(1) 現金預金		
現金		
現金手許有高	168,616	
普通預金		
みずほ銀行赤坂支店	7,568,045	
三井住友銀行赤坂支店	680,631	
三井住友銀行赤坂支店	397,739	
三菱東京UFJ銀行虎ノ門中央支店	1,956,413	
	10,771,444	
(2) 仮払金		
(株)インフィールド	399,300	11,170,744
2. 固定資産		
(1) 器具備品	209,340	
(2) 電話加入権	244,760	
(3) 敷金		
独立行政法人都市再生機構	213,800	
(4) 保証金		
(株)十全	1,590,000	2,257,900
資産合計		13,428,644
II 負債の部		
1. 流動負債		
(1) 未払金		
3月分給料	851,000	
社会保険料	151,990	
電話代	13,668	
富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)	3,305	
	1,019,963	
(2) 預り金		
源泉所得税	30,586	1,050,549
負債合計		1,050,549